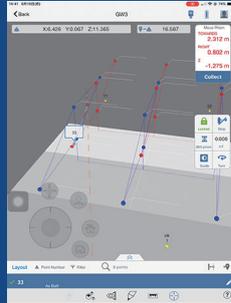


1

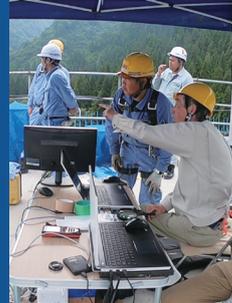
建設機械の設置位置をBIM/CIMモデルで作成し、各作業における計測、機械の位置や動きの情報を取得し、3次元モデルとTS測量技術や画像処理技術を連携させます。これらにより架設作業の省力化・省人化および安全管理の効率化を図ります。



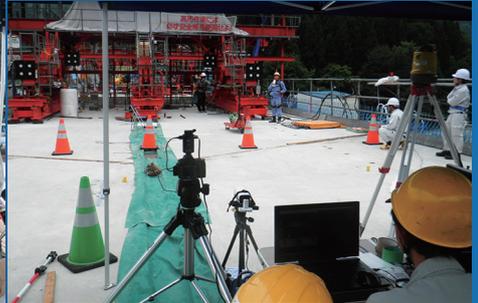
単眼カメラによる安全監視



建設機械BIM/CIMモデル



データ取得状況



2

UAVにより撮影取得した配筋画像データより配筋3Dモデルを作成し、これらデータをBIM/CIM配筋モデルと共有します。さらに任意の検査箇所のOK/NGを記録することで、配筋検査の省人化および品質管理の効率化を図ります。

UAVによる撮影



TS測量器とMRデバイスの連携

3

型枠のBIM/CIMモデルをクラウド経由でMRデバイスに取り込み、その画面上で型枠寸法を計測し、その場で設計モデル（規格値）と比較・確認することで、型枠組立の図面レス検査、省人化および品質管理の効率化を図ります。



型枠寸法計測イメージ